



着想から2ヶ月でリリース、 社内新規事業の立ち上げに GCPを活用した背景



株式会社博報堂アイ・スタジオ
平川育男



Google Cloud

Google

本日のセッション

1. Introduction
2. オンライン会議効率化SaaS Telelogger について
3. 新規事業の考え方、立ち上げ方
4. まとめ

本日のセッションでお伝えできること

社内新規事業をスピード感もって立ち上げる考え方

立ち上げた事業を分析し、伸ばしていく為のGCPの活用方法

1. Introduction

2. オンライン会議効率化SaaS Telelogger について
3. 新規事業の考え方、立ち上げ方
4. まとめ



平川 育男(@ikuo00uk)

株式会社博報堂アイ・スタジオ
バリュープランニングセンター・ビジネス開発ユニット
ゼネラルマネージャー・プロダクトマネージャー

2015年エンジニアで新卒入社後フロントエンド領域で実績を重ねる
2018年HDYグループ社内公募型起業制度「AD+VENTURE」に応募・採択され株式会社frascoを起業、取締役CTOとしてプロダクト全体の戦略・開発を担当しtoC向けサービスを運営
2020年より現職。新規事業部を担当しプロダクトマネージャーとして牽引

2015

エンジニアとして新
卒入社

2018

株式会社 frascoを起業
ローカルの街歩きメディア
Stock.Shopを運営

2020

帰任
B2Bの新規事業の立ち上げ



Interactive Creative Frontline

HAKUHODO
•I-STUDIO•

HDYグループのデジタルクリエイティブ・プロダクション

博報堂アイ・スタジオはデータを活用したビジネス課題の検証から、課題解決のためのUX 設計、施策実施のためのクリエイティブ／テクノロジーまで、ブランディングとコンバージョンの両面をワンストップでプロデュース。

1. Introduction
2. **オンライン会議効率化SaaS
Telelogger** について
3. 新規事業の考え方、
立ち上げ方
4. まとめ







オンライン会議効率化クラウドサービス

Teleloggerはオンライン会議における会話の自動文字起こしや、事前準備、タスク管理を通じ、会議のムダな作業を減らすことでチームの生産性向上を実現するサービス

2020年は音声認識領域が再注目されてきている

テレワークの増加などの背景もあり、今年4月からリリースされたサービスは数十社を超える

Teleloggerは、WEB会議の課題を解決するプロダクト

- ・会議中誰が何を話しているか分かりづらく、議事録を書くのに時間がかかる
- ・会議のゴールが不明瞭で、次にやることが決まらない
- ・会議で決まったことや議事録の管理場所が、人によってバラバラしている

Teleloggerは、WEB会議の課題を解決するプロダクト

- ・会議中誰が何を話しているか分かりづらく、議事録を書くのに時間がかかる
→Web会議システムと立ち上げることで、会議の文字起こしを実現
- ・会議のゴールが不明瞭で、次にやることが決まらない
→会議のフォーマットを作成することで、誰でも同じような会議進行ができるように
- ・会議で決まったことや議事録の管理場所が、人によってバラバラしている
→会議情報を一つに管理することで、検索の手間を削減



ホーム

新規ミーティング

ミーティング参加

ミーティング一覧

ご利用規約

お問い合わせ

Teleloggerに招待

2020.05.20 13:15 - 14:30 | このページへのリンクを発行

Telelogger定例会議 第一回



佐藤 正和 13:15

仮のテキストです。Telelogger上でアジェンダを作成し参加者を追加するだけで、GoogleカレンダーにアジェンダとWeb会議のURLなど、会議の事前情報が自動で共有されます。Teleloggerが効率的に会議を進行するサポートを行います。Teleloggerと連携してWEB会議システムが立ち上がり、参加者の誰が、何を話したかをAIが自動で文字起こしします。



田中 あや 13:16

仮のテキストです。仮のテキストです。仮のテキストです。仮の...



鈴木 太郎 13:16

過去の会議を振り返る際もTelelogger上で全て一括管理されている為、次に自分やチームメンバーが何をするか探す無駄を解消できます。



池田 大地 13:16

仮のテキストです。仮のテキストです。仮のテキストです。仮のテキストです。



田中 大介 13:17

Teleloggerと連携してWEB会議システムが立ち上がり、参加者の誰が、何を話したかをAIが自動で文字起こしします。メモを取る必要は無く会議に集中することができます。



平川 たけし 13:17

その為メモを取る必要は無く会議に集中ことができ、終了後の議事録作成もワンクリックだけで完成します。



鈴木 太郎 13:18

ZoomやMeetと一緒に使って会議の会話を自動で文字起こし、議事録作成も毎日のWeb会議がより効率的に。さらに、Web会議に費やすムダな作業を減らす機能も充実。

|| 音声認識を停止



アジェンダ

議事録

Telelogger上でアジェンダを作成し参加者を追加するだけで、Googleカレンダーと参加者へメールで会議の情報が共有されるようにする。

※参加者全員が会員登録し、招待されたURLにアクセスする必要がある。

詳細内容

[池田 大地]

参加者の誰が、何を話したかをAIが自動で文字起こしします。これからは会議のメモを取る必要は無く会議に集中ことができ、終了後の議事録作成もワンクリックで完成します。会議の音声再生も出来るので、振り返りも簡単です。会議が終了したら議事録と会議で決まった次のタスクを参加者にお知らせ。

[平川 たけし]

会議のアジェンダ、資料、参加者、議事録、タスクなど会議の情報がすべて一括で管理されているため、様々なツールから検索する手間が無くなります。

[田中 大介]

Web会議の議事録を簡単に。ZoomやMeetと一緒に使って会議の会話を自動で文字起こし、議事録作成も簡単で毎日のWeb会議がより効率的に。さらに、Web会議に費やすムダな作業を減らす機能も充実。

T B I S

ミーティングを終了

2020.08.20 13:15 - 14:30 | このページへのリンクを共有

Telelogger定例会議 第一回

 佐藤 正和 13:15
仮のテキストです。Telelogger上でアジェンダを作成し参加者を追加するだけで、GoogleカレンダーにアジェンダとWeb会議のURLなど、会議の事前情報が自動で共有されます。Teleloggerが効率的に会議を進行するサポートを行います。Teleloggerと連携してWEB会議システムが立ち上がり、参加者の誰が、何を話したかをAIが自動で文字起こしします。

 田中 あや 13:16
仮のテキストです。仮のテキストです。仮のテキストです。仮の...

 鈴木 太郎 13:16
過去の会議を振り返る際もTeleloggerで検索されている為、次に自分やチームメンバーの発言を簡単に検索することができます。

 池田
仮のテキストです。仮のテキストです。仮のテキストです。

 田中
Teleloggerと連携してWEB会議システムが立ち上がり、参加者の誰が、何を話したかをAIが自動で文字起こしします。メモを取る必要は無く会議に集中することができます。

 平川 たけし 13:17
その為メモを取る必要は無く会議に集中することができ、終了後の議事録作成もワンクリックだけで完成します。

 鈴木 太郎 13:18
ZoomやMeetと一緒に使って会議の会話を自動で文字起こし、議事録作成も簡単に毎日のWeb会議がより効率的に。さらに、Web会議に費やすムダな作業を減らす機能も充実。

⏸ 音声認識を停止



ポイント1 誰が発言したかを 自動で文字起こし

アジェンダ

議事録

Telelogger上でアジェンダを作成し参加者を追加するだけで、Googleカレンダーと参加者へメールで会議の情報が共有されるようになります。

※参加者全員が会員登録し、招待されたURLにアクセスする必要があります。

詳細内容

 [池田 大地] ×
参加者の誰が、何を話したかをAIが自動で文字起こしします。これからは会議のメモを取る必要は無く会議に集中することができ、終了後の議事録作成もワンクリックで完成します。会議の音声再生も出来るので、振り返りも簡単です。会議が終了したら議事録と会議で決まった次のタスクを参加者にお知らせ。

 [平川 たけし]
会議のアジェンダ、資料、参加者、議事録、タスクなど会議の情報がすべて一括で管理されているため、様々なツールから検索する手間がなくなります。

 [田中大介]
Web会議の議事録を簡単に。ZoomやMeetと一緒に使って会議の会話を自動で文字起こし、議事録作成も簡単に毎日のWeb会議がより効率的に。さらに、Web会議に費やすムダな作業を減らす機能も充実。



ミーティングを終了



2020.05.20 13:15 - 14:30 | このページへのリンクも発行

Telelogger定例会議 第一回

佐藤 正和 13:15
仮のテキストです。Telelogger上でアジェンダを作成し参加者を追加するだけで、GoogleカレンダーにアジェンダとWeb会議のURLなど、会議の事前情報が自動で共有されます。Teleloggerが効率的に会議を進行するサポートを行います。Teleloggerと連携してWEB会議システムが立ち上がり、参加者の誰が、何を話したかをAIが自動で文字起こしします。

田中あや 13:16
仮のテキストです。仮のテキストです。仮のテキストです。仮の...

鈴木 太郎 13:16
過去の会議を振り返る際もTelelogger上で全て一括管理されている為、次に自分やチームメンバーが何をするか探す無駄を解消できます。

池田 大地 13:16
仮のテキストです。仮のテキストです。仮のテキストです。仮のテキストです。

田中大介 13:17
Teleloggerと連携してWEB会議システムが立ち上がり、参加者の誰が、何を話したかをAIが自動で文字起こしします。メモを取る必要は無く会議に集中することができます。

平川 たけし 13:17
その為メモを取る必要は無く会議に集中ことができ、終了後の議事録作成もワンクリックだけで完成します。

鈴木 太郎 13:18
ZoomやMeetと一緒に使って会議の会話を自動で文字起こし、議事録作成も簡単に毎日のWeb会議がより効率的に。さらに、Web会議に費やすムダな作業を減らす機能も充実。

音声認識を停止



アジェンダ

議事録

Telelogger上でアジェンダを作成し参加者を追加するだけで、Googleカレンダーと参加者へメールで会議の情報が共有されるようにする。

※参加者全員が会員登録し、招待されたURLにアクセスする必要があります。

詳細内容

ポイント2
参加者の誰が、何を話したかを自動で文字起こしします。これからは会議のメモを取る必要は無く集中することができます。議事録作成もワンクリックだけで完成します。会議の進行状況も一目で把握でき、参加者の誰が何を話したかをAIが自動で文字起こし、会議で決まった次のアクションも参加者に自動的に通知されます。

アジェンダや議事録 WEB会議のURLも一括で管理
[平川 たけし] 13:17
会議のアジェンダ、資料、参加者リスト、タスクなどをすべて一括で管理されているため、様々な

[田中大介]
Web会議の議事録を簡単に。ZoomやMeetと一緒に使って会議の会話を自動で文字起こし、議事録作成も簡単に毎日のWeb会議がより効率的に。さらに、Web会議に費やすムダな作業を減らす機能も充実。

編集アイコン

ミーティングを終了

なぜこの事業を立ち上げたか？

・COVID19による、働き方の変化

アフターコロナにおけるリモートが前提の働き方が進む中で、オンライン会議に紐づく作業や負担は今後も増加してくる

・ヒアリングを通じ見えた、オンライン会議特有の課題

オンライン会議の増加に伴い、リアルな場所の会議では起きなかった誰が何を喋ったかが分かりにくくなったことや、タッピングを気にして議事録が取りづらくなっている現象が起きはじめていた

・仮説を基にしたMVPの社内反応が想定よりも良かった

各端末の音声を記録し文字起こしするだけのMVPが、想定よりも高い会員登録率に加え、NPSも高かったことに事業としてのポテンシャルを感じた

初期のMVP (Minimum Viable Product)

TELELOGGER
オンライン時代の会話を自動で文字起こし

新規登録 ログイン

ZoomやGoogle Meetなどオンライン会議ツールと併用して使うサービスです

TELELOGGERとは
オンライン上での会話を自動で文字起こし
「誰が・なにを」話したのかをリアルタイムで編集して記録
会議・取材・セミナーなど様々なシーンで活用できます

参加者
daisuke.ikuta Kawazu Ikuo 田中眞人

ビジュアル プレーン

daisuke.ikuta
了解です！では明日の12時に確認できるようにXO修正します
2020/4/20 17:40



ある程度の不便さはあるものの議事録としての活用に関する有用性



今求められるツールだと思う。早く得意先定例等に導入したい。

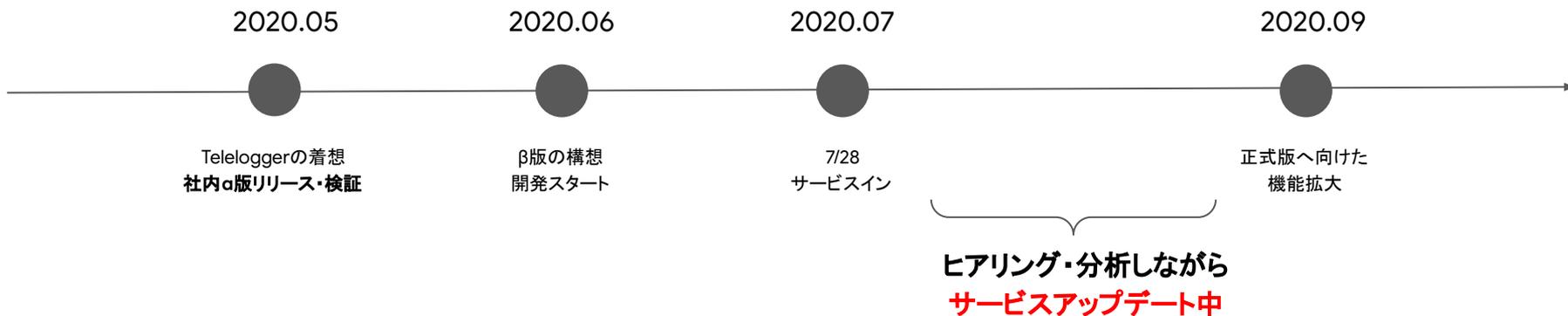


激しくオススメしたいのですが、ログインが必要・語彙力的なところでもう少しあるといいなと思っています！

利用者の声

2ヶ月でβ版をリリース、顧客の声を聞きつつ改善中

実際の利用者の声を聞きプロダクトに反映するために早期リリース、現在は改善に注力



短期間で、リリースするためにGCPをフルに活用

リーンな開発を実現するためにFirebaseを活用

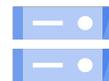
認証部分やデータの出し入れなどバックエンドの工数を削減できる点から採用、またリアルタイム性が求められる仕組みの開発が備わっており1から実装せずに済んだ

精度の高い文字起こしと継続的な音声認識の向上にGoogleのAPIがマッチ

カスタマイズ性もあり、サービスの中長期的な成長も視野に入れて採用

サーバレスアーキテクトを実現しアプリケーション開発・サービスグロースに注力

インフラの設定や保守などの部分を削減し、サービスの本質に注力が出来た



Teleloggerの音声認識・文字起こしの仕組み

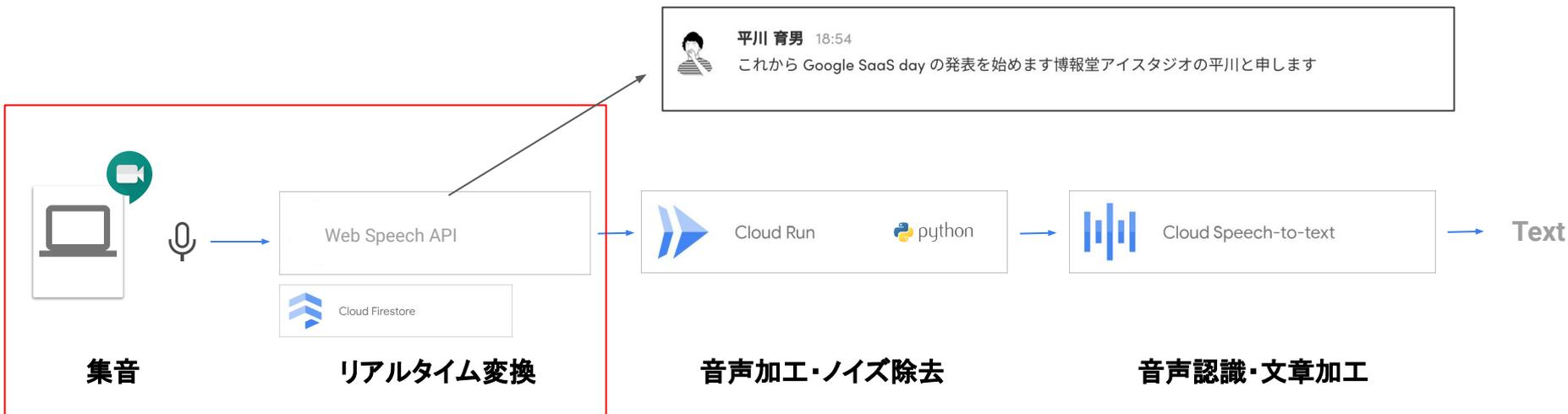
Firebase, App Engine, Cloud Runを活用したシステム構成
音声認識の部分に関しては、Speech to Textと自社で構築した仕組みを組合せて実現



リアルタイム変換

話した音声をブラウザから取得し、Web Speech APIで文字起こししたデータを
Firestoreに格納、参加者全体にリアルタイムで共有

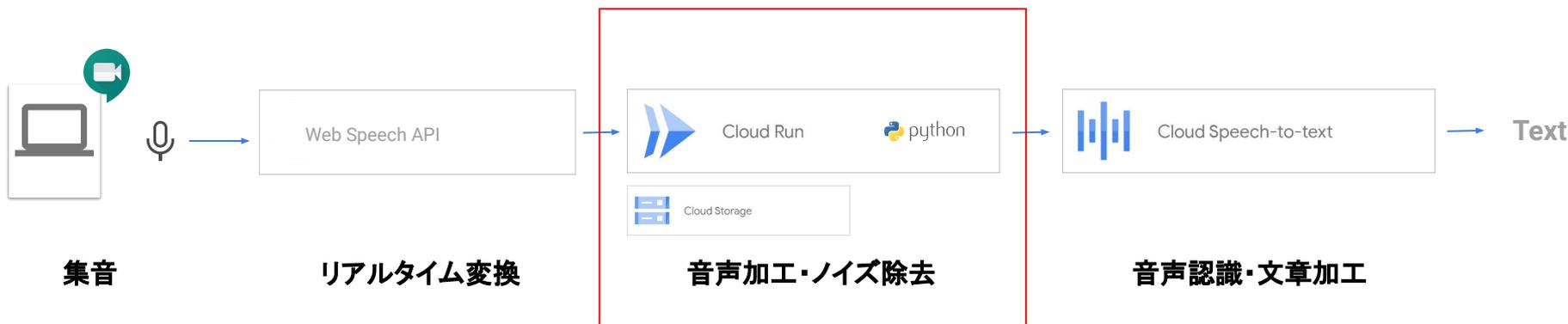
※Web Speech APIでは文字起こしの精度は落ちるので、速報的な意味合いが強い



音声加工・ノイズ除去

発言者が話し終わりのタイミングで音声をCloud Runにアップロード
音声データにノイズ除去や音圧調整などの加工を行いCloud Storageに保存し処理をかける

Cloud Runはコンテナファイル(Docker)をアップロードするだけで、マイクロサービス視点でAPIを作成可能、今回のように音声処理だけの機能ベースとして活用ができる



音声認識・文字起こし

加工した音声データからSpeech to Textを通じて文字起こしを行い、参加者の画面に表示
※この際、参加者の氏名や会議中によく使う単語などを追加することで、日本語の誤変換を減らしている



1. Introduction
2. オンライン会議効率化SaaS Telelogger について
3. **新規事業の考え方、立ち上げ方**
4. まとめ



新規事業の立ち上げで重要なこと

Point1

声を聞く

Point2

素早く作る

Point3

行動を見る

GCPを上手に活用し、仮説検証に注力する

新規事業は、とにかくリソース・コスト・時間が足りない

Google SiteやGoogle Formを活用しサイト制作の時間を減らし、ヒアリングやコンセプト検証に注力
FirebaseやGoogle Cloudを活用することでインフラ担当者を構えずにサービスの本質に注力
解析ツールを活用することで、見えなかったニーズを掘り下げることができる

Point1

声を聞く



Point2

素早く作る

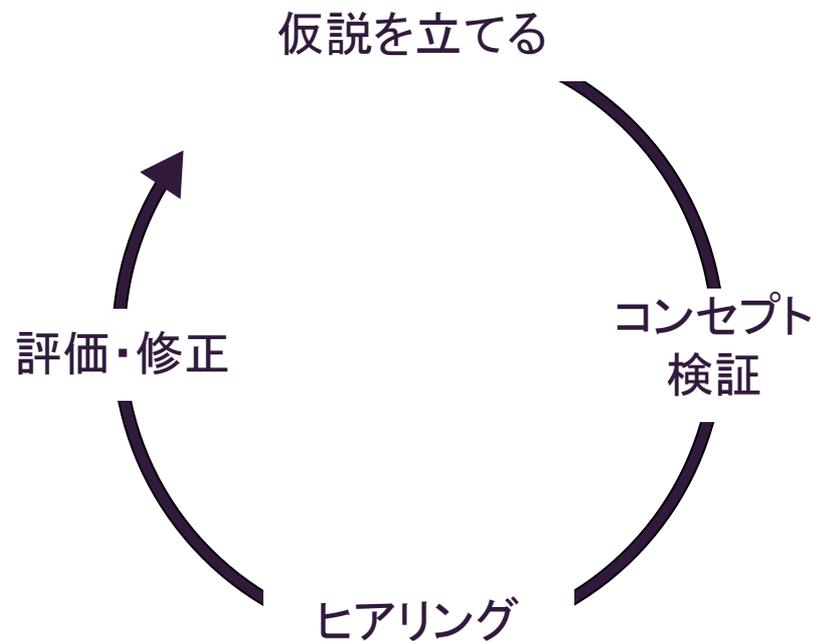


Point3

行動を見る



初期段階はいきなり作りださず、仮説検証を繰り返す



- ・いきなり作りださない
- ・顧客の生声を聞く
- ・何度も仮説を立て直す

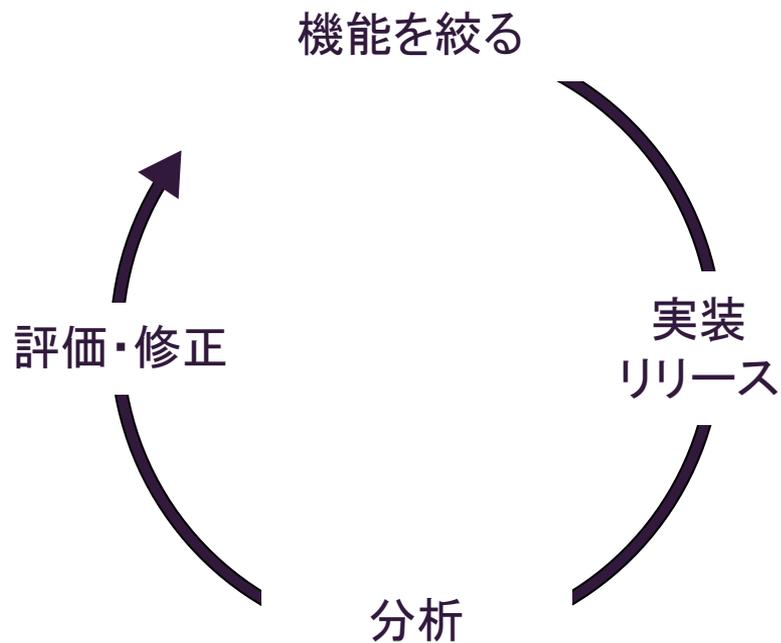
いきなり作らない大切さ

- ・実装した後使われないサービスになることを防ぐ
- ・顧客が欲しい物かはコードを書かなくてもコンセプトで検証できる
- ・確証が持てた段階で、初めてコードを書きMVPへ着手する

顧客の生声を聞く

- ・このプロダクトが欲しいか尋ねても、答えは返ってこない
- ・顧客が普段やっている行動を聞き、ヒントを見つける
- ・普段使っている行動に不満が無いか、分解してみる

最小限の機能に絞ってリリースし、分析と改善を繰り返す



- ・スピード感を持って実装する
- ・世の中に出して行動を分析
- ・グロースしないことをする

新規事業はまず小さく出してみることから始まる

- ・リサーチデータや、統計からは本当のニーズは分からない
- ・入念に検討するよりも、やってみることで見えることも多い
- ・小さく出すことで、仮説の修正や事業転換が容易

コアなユーザーを見つけて、機能を検証していく

- ・リリース初期に広告費を投下しても、バケツに穴が空いた状態
- ・常に仮説を立て、ファンになる顧客を増やすにはなにか？を考える
- ・コアなユーザーの行動をBigQueryやAnalyticsなどを活用し分析

1. Introduction
2. オンライン会議効率化SaaS
Telelogger について
3. 新規事業の考え方、
立ち上げ方
4. **まとめ**



Teleloggerは短期間でリリースすべく、GCPをフル活用

リーンな開発を実現するためにFirebaseを活用

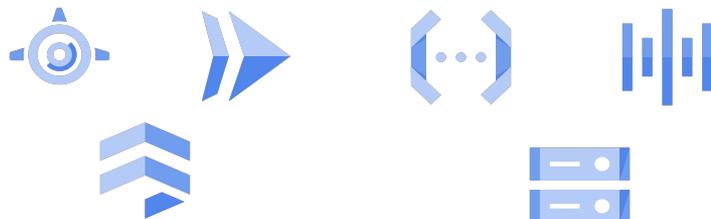
認証部分やデータの出し入れなどバックエンドの工数を削減できる点から採用、またリアルタイム性が求められる仕組みの開発が備わっており1から実装せずに済んだ

精度の高い文字起こしと継続的な音声認識の向上にGoogleのAPIがマッチ

カスタマイズ性もあり、サービスの中長期的な成長も視野に入れて採用

サーバレスアーキテクトを実現しアプリケーション開発・サービスグロースに注力

インフラの設定や保守などの部分を削減し、サービスの本質に注力が出来た



新規事業はスピード感を持って、取り組みましょう！

Point1

声を聞く



とにかく
生声を聞く

Point2

素早く作る



小さく絞って
まずリリース

Point3

行動を見る



コアユーザー
の行動を分析し
ヒントを見つける



オンライン会議効率化クラウドサービス

<https://telelogger.com/>



The screenshot shows the homepage of the Telelogger website. At the top left is the Telelogger logo. To the right are navigation links for "USER FLOW", "USE CASE", and "LOGIN", along with a teal button labeled "無料登録". The main heading is "Web会議の議事録を簡単に". Below this is a paragraph of Japanese text: "ZoomやMeetと一緒に使って会議の会話を自動で文字起こし、議事録作成も簡単に毎日のWeb会議がより効率的にさらに、Web会議に費やすムダな作業を減らす機能も充実". Underneath is the text "Telelogger β版 登録受付中" followed by a teal button that says "無料で始める". At the bottom left, there is a link to the official Twitter account: "公式Twitterをフォローして最新情報をチェック". On the right side of the page, there is an illustration of a person with a headset sitting on a large blue sphere, using a laptop. Three circular icons representing other participants are connected to the person by lines, each with a microphone icon and a waveform, suggesting a multi-person video conference.

Thank you